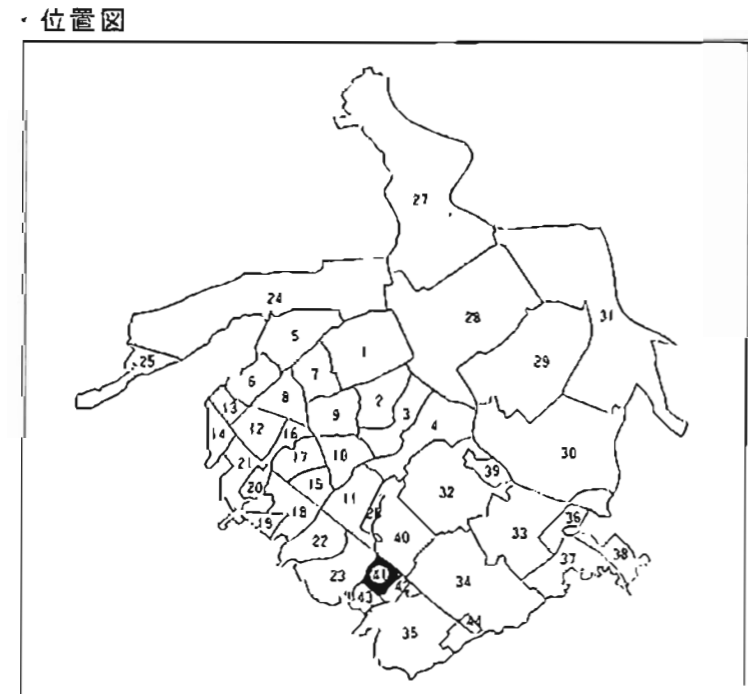


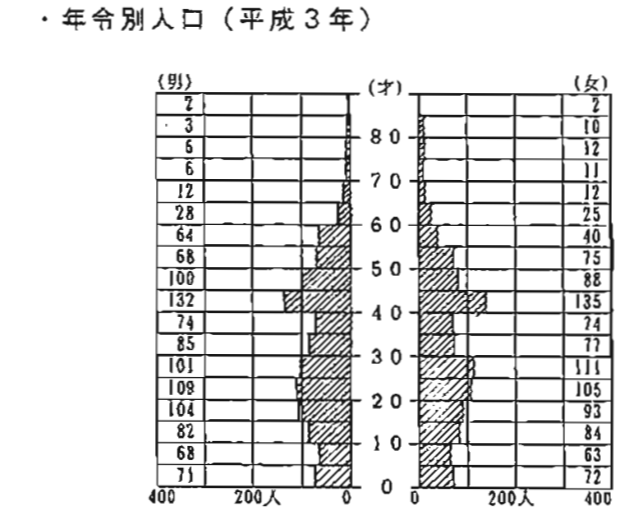
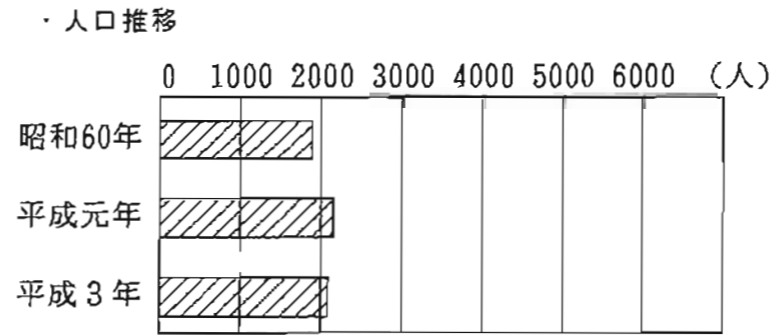
富士見市防災環境カルテ
西みずほ台1丁目南町会 位置番号 41

・概況
西みずほ台1丁目南町会は、富士見市の西部に位置し、町会全体が台地（台地段丘）で形成されている。北東側には東武東上線が通り、昭和52年に開設されたみずほ台駅が、鶴瀬駅にひきつづいて富士見市の表玄関の役割を果たしている。駅周辺は、みずほ台駅ビル、さくら銀行、入間東部農協みずほ台支店などの業務施設、みずほ台駅ビル内の東武ストア、駅前商店街など商業施設が整備されている。町会の中心部にはみずほ台コミュニティセンターと松ノ木公園がある。南東側にはみずほ台駅西通り線（すずかけ通り）が通じている。武蔵野の緑地は消えつつあるが、環境は、良好な地域で、水害・地震災害の危険性は低い地域と予想される。しかし、高層建築物が多く人口密度も高いことから防災について多面的な対策を必要としている。一方で、駅前地区であることから毎日、多様な目的をもった不特定多数の人々が通行しており、発災時の混乱など新たな危険性をはらんでいる。



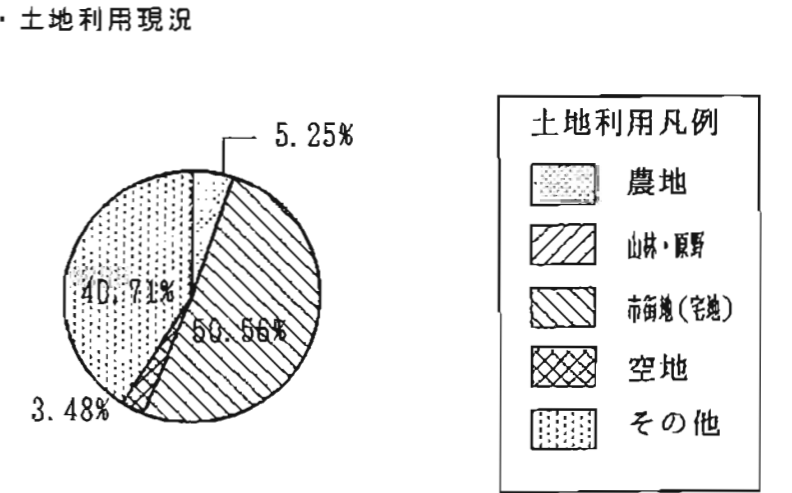
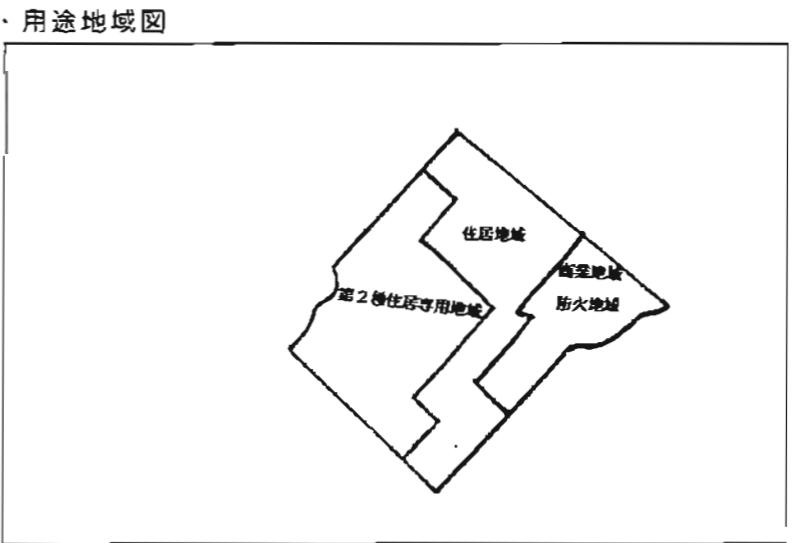
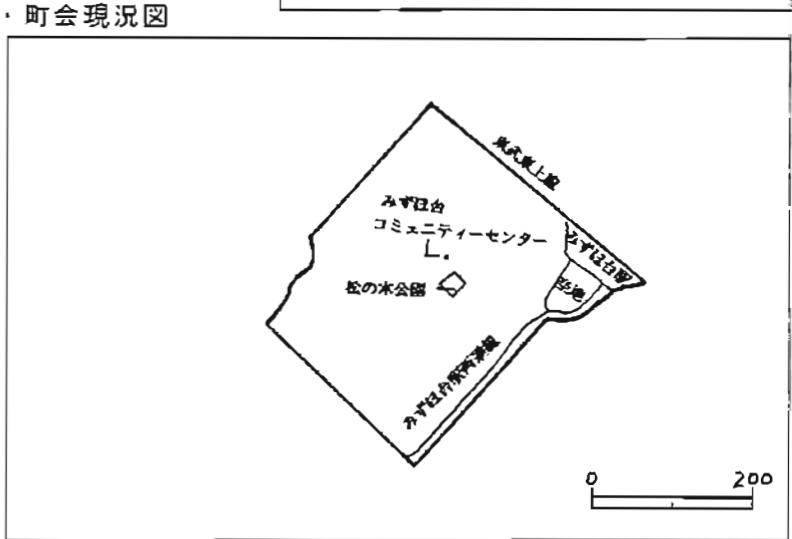
1. 基礎指標

・面積	0.093 km ²
・人口(平成3年10月1日現在) 男	1,039人
女	1,038人
計	2,077人
・人口密度	22,333.3人/km ²
・寝たきり老人数	3人
・ひとり暮らし老人数	4人
・世帯数	745世帯



・商住工混在率住居系	91.8%
店舗系	7.7%
工業系	0.5%

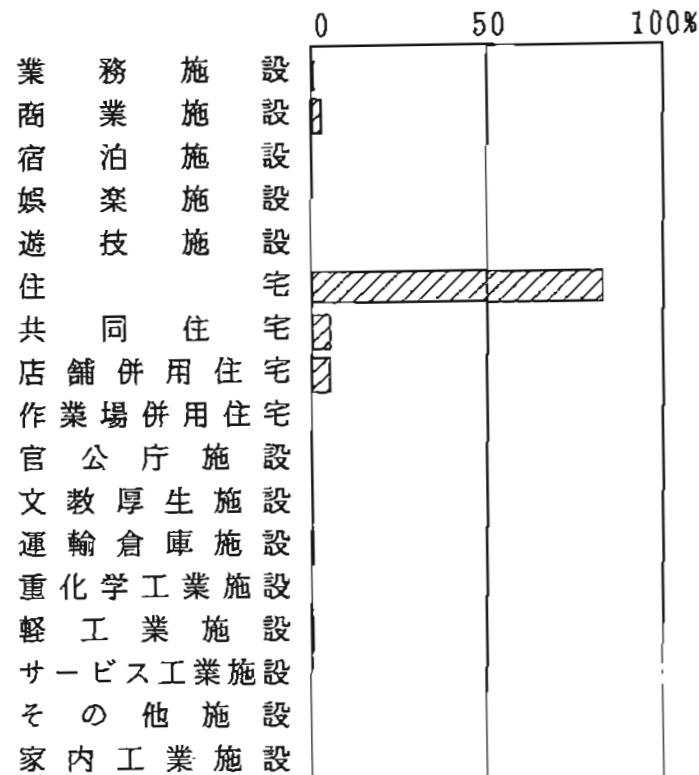
富士見市防災環境カルテ
西みずほ台1丁目南町会 位置番号 41



2. 建物指標

・建物棟数	572棟	
木造建物	181棟	
非木造建物	391棟	
・建物面積	17,908.50㎡	
木造建物	7,312.40㎡	
非木造建物	10,596.10㎡	
※建物面積は1階の面積		
・住宅率	83.9%	
・木造率	31.6% (181棟)	
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	0棟	
・同上率	0%	
・建物階層別現況(木造建物)		
1階	32棟	17.7%
2階以上	149棟	82.3%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	23本	247.3本/㎢
・幹線道路率	6本	64.5本/㎢
・公共空地面積	1,800.0㎡	
・公共空地率	1.9%	
・1人あたり公共空地	0.9㎡/人	
・公共空地内容 (*指定避難所)		
名称	面積	
1. 高校	0㎡	
2. 中学校	0㎡	
3. 小学校	0㎡	
4. 公園	0㎡	
5. 松の木公園	1,800.0㎡	

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 応援協定 所沢市、川越地区消防組合、 新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	14本
・1消火栓あたり世帯数	53.2世帯/本
・消防水利貯水施設数	24 (9) 箇所 ()内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	0箇所
・一般取扱所	0箇所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0箇所
・地下タンク貯蔵所	0箇所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和 年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
・崖崩れ被害 (年 ~ 年)			0件
・火災出火件数 (年 ~ 年)			0件
・1923関東大地震被害			
家屋全壊			0戸
家屋半壊			0戸
被害率			0%

7. 防災基盤施設

消防	0箇所	
病院	0箇所	
医 院	7箇所	中川内科小児科医院, 坂本整形外科 武田耳鼻咽喉科, 宮沢クリニック みずほ台治療院, 大渡歯科, 渡辺歯科
休日診療所	0箇所	
警 察	1箇所	東入間警察署 みずほ台派出所
水防施設 その他の施設	0箇所	
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

8. 危険度評価

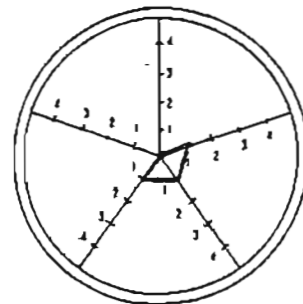
・内水災害危険度	0ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク
・木造建物被害危険度	1ランク
・木造建物出火危険度	1ランク
・木造建物延焼危険度	1ランク

地盤	地盤の地震動危険度	1ランク
危険度	液状化危険度	0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4

内水災害危険度



液状化危険度

木造建物被害危険度

木造建物延焼危険度

木造建物出火危険度

※ 想定震度 5(+) (強震(強))

9. 地盤条件

地盤は、町会全体が台地(台地段丘)で硬い。地震は、震度5(+) (強震の強い方)が予想される。

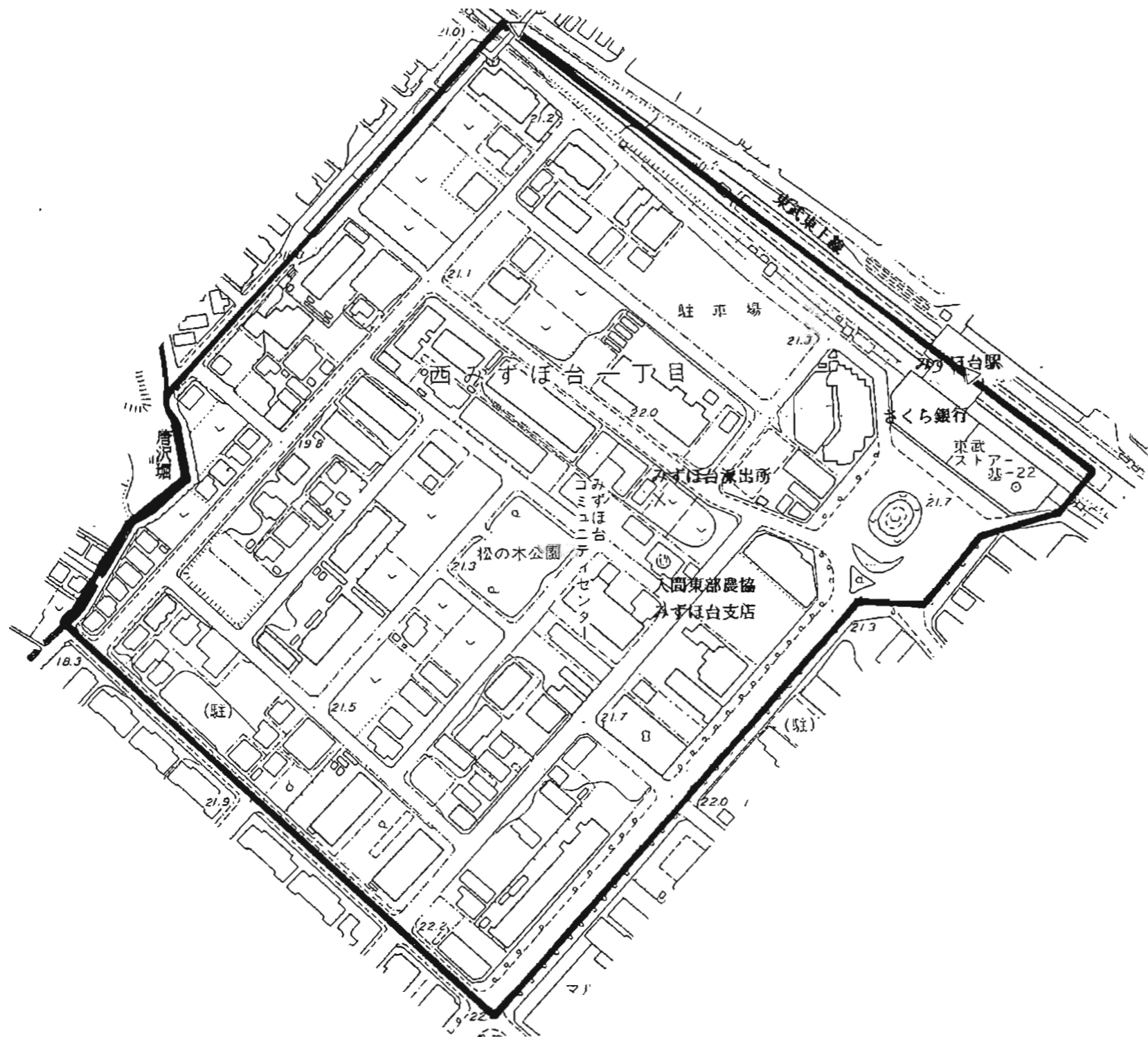
10. 問題点の整理

災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	無い。	1. 水防能力	水防施設は無い。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	地盤条件が良いので、倒壊の危険性は低いと予想される。	3. 消防能力	世帯数に比較して消火栓は少ないが消防水利貯水施設は十分と思われる。
4. 出火危険	出火の危険性は低いと予想される。	4. 防火能力	みずほ台駅西口を中心として、不燃化の商業施設、業務施設、住宅地の建設が促進され、都市防災に強い街づくりが進められている。
5. 延焼危険	延焼の危険性は低いと予想される。	5. 避難収容力	町会内には指定避難所は無い。避難所は、西中学校(西みずほ台3丁目町会)を共用する。町会内の地震火災の危険性は低いと予想されるので、収容力は十分と思われる。しかし、1人あたりの公共空地は0.9㎡/人と見込まれる。
6. その他の災害	無い。		

11. 解決の方向性

避難可能な道路は、駅ビル、商業施設、業務施設の目前を通り抜けて避難所へ通じているため、これら施設(中・高層建築物)の①ビルの窓ガラスの飛散 ②外装材(外壁モルタル、モルタル等) ③高架水槽 ④広告塔、看板等の落下物で、避難道路が通行不能になる事態が予測される。したがって、これら落下物の予防対策指導が望まれる。また、これら施設(中・高層建築物)の防火対策、地震対策として、①中・高層建築物の不燃化②火気設備及び火気管理の規制 ③防災設備の集中管理 ④避難計画 ⑤工作物の安全性などの対策指導が望ましい。人口の増加、中・高層化により住民のコミュニティの不足が予想されるため、住民相互が協力しあう防災組織化が必要と思われる。

防災現況図A(災害発生要因)



凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横断歩道橋
△	立体交差
■	木造家屋密集地域
—	河川・水面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
■	盛 土
■	浅い谷・低地(谷底平野)

既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域



防災現況図B(災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水防施設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病院
	医 院
	休日診療所
	指定避難所
	公 園
	河川・水面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑